※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	古典演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・有名な古典作品に親しみ、心情等を理解するために語彙力や文法の知識を身につけましょう。
・予習として本文を繰り返し読んでおきましょう。
・様々な文章を「読む能力」、自身の考えを発表するための「話す・聞く能力」を身につけてください。
・ノートは丁寧に整理して、授業のポイントや自身で気付いたことを記入しましょう。
・提出物の期限は守り、定期考査・小テストは学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・伝統的な古典文化に対する関心を持ち、国語を尊重し社会生活の充実を図る態度を育てる。
・古典作品を通じて表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばす。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化に理解を深める。 古典作品の文章に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 「読むこと」において、人間・社会・自然などについて考察し、古典特有の表現を鑑賞する態度を身につけている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、古典と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。 人間関係において、互いを尊重し、自身の意思を正しく伝えようと努めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	説話 ［教材］『沙石集』 「あわて者の智運房」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し読むために必要な語句の量を増やすことを通して語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	軍記物語 ［教材］『平家物語』 「能登殿の最期」	a：和漢混交文の流麗な文体やリズム等、表現上の特色を理解している。 b[読]：軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み深めている。 c：音便や挿入句、中世の敬語や語彙に慣れ親しみ、その特色について理解している。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	随筆 ［教材］『枕草子』 「心をなぐさめるもの」	a：随筆を読み、語句の意味や用法を理解し読むために必要な語句の量を増やすことを通して語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで音読して古典の世界に親しみ、文語のきまりを身につけている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	日記 ［教材］『土佐日記』 「羽根の地にて」	a：古文に親しみを持ち、内容や時代背景を理解している。 b[読]：日記を読み、作者の思想や感情を読み取り、人間や社会などについて考察している。 c：進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
後期	物語		記述の確認及び定	記述の確認及び定	行動の観察及び記

※令和４年度以降入学生用

	［教材］『源氏物語』 「帝の悲しみ」	a：和歌を含む物語を読み、物語における和歌の役割を理解している。 b［読］：長編物語を読み、話のおもしろさを捉え、話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み深めている。 c：進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	期考査	期考査	述の点検
	歴史物語 ［教材］『大鏡』 「筆の名人佐理」	a：戯曲的な構成を理解し、内容を的確に捉えている。 b［読］：歴史物語を読み、登場人物の行動や心情を読み深めている。 c：敬語など、古文読解の知識を確認し理解している。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	説話 ［教材］『今昔物語集』 「羅城門の盗人」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し読むために必要な語句の量を増やすことを通して語彙を豊かにしている。 b［読］：物語を読み、話のおもしろさを捉え、話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み深めている。 c：進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	歌物語 ［教材］『伊勢物語』 「すける物思い」	a：和歌を含む物語を読み、物語における和歌の役割を理解している。 b［読］：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　45　）時間